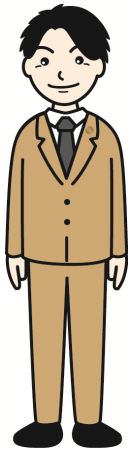
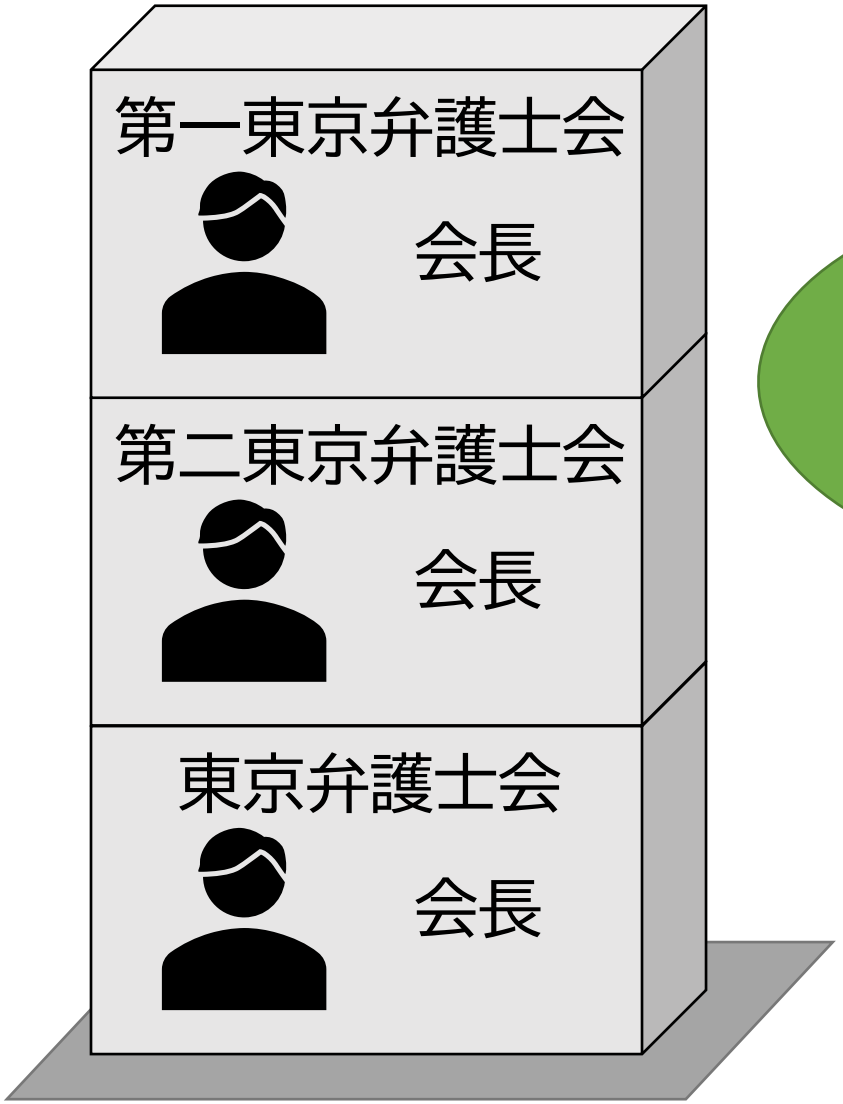
東京の3弁護士会「分裂」実態レポート①

こうして始まった分裂の物語



ちょっと
興味
あるな！

会員君
（二弁新人）

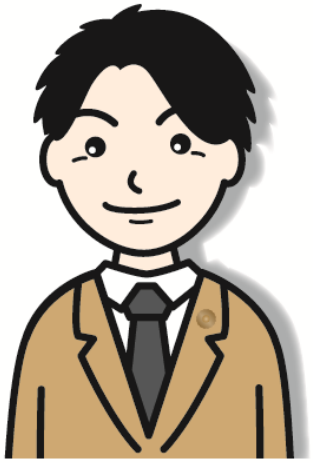


千代田区霞ヶ関の弁護士会館

会員君

そもそも東京の弁護士会は明治26年(1893)創立の東京弁護士会ひとつでした

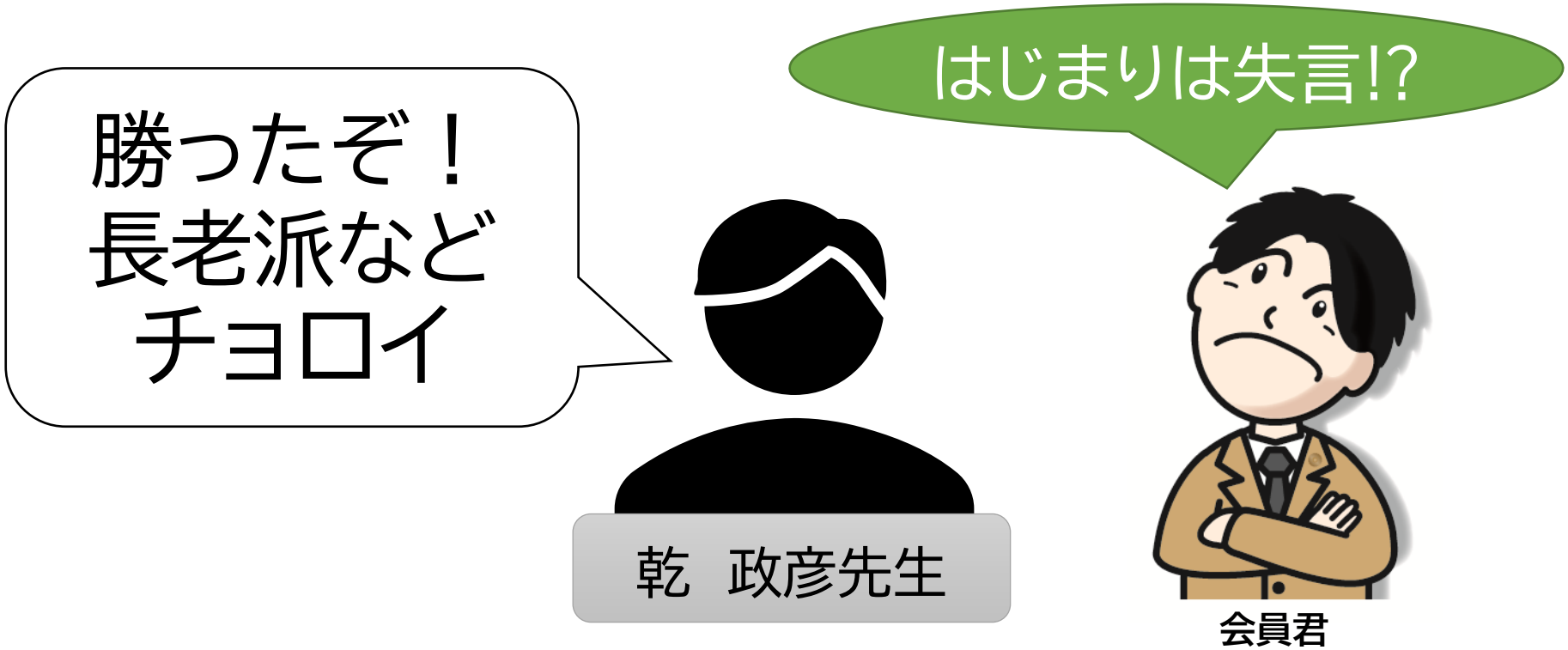
結構
古いんですね



会員君

①

分裂の発端は、会長選挙で当選した若手会長のこの発言（大正12年）



①

紳士でない人とは
一緒にいれない！
別の弁護士会を
作る！

一弁初代会長
原　嘉道先生
（大正12年）

よくある話では
あるけれど

会員君

①

二つに
分かれて
いるのは
良くない

将来の統合
のため
とりあえず
三つに！

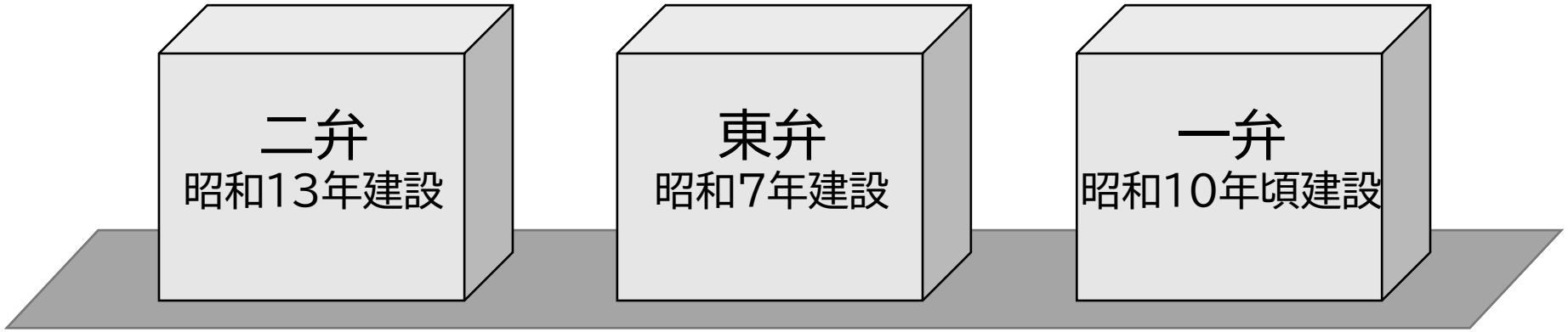
二弁初代会長
仁井田先生
（大正15年）

なんか矛盾？

会員君

①

3つの弁護士会の会館が横ならびに建設されました



①

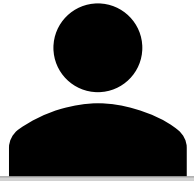
昭和24年弁護士法制定の時のこと

東京の三会もひとつにまとめて下さい

後で良いことにして、とにかく法案を通過させよう

福原忠男先生
（現弁護士法起草者）

絶対反対！

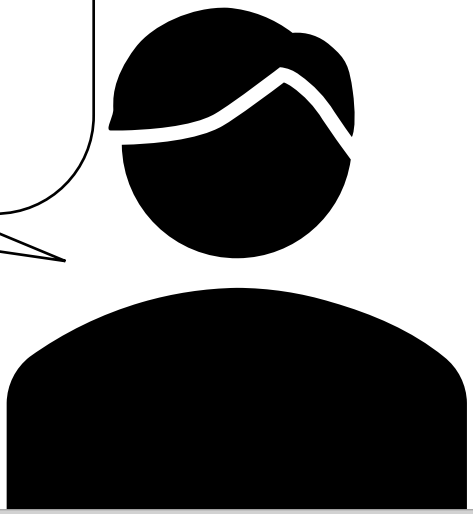


一弁会長

①

平成3年 新会館建設計画

ひとつの建物に
一緒に入ろうと
一弁を説得している。
合併は
その後にしろ！

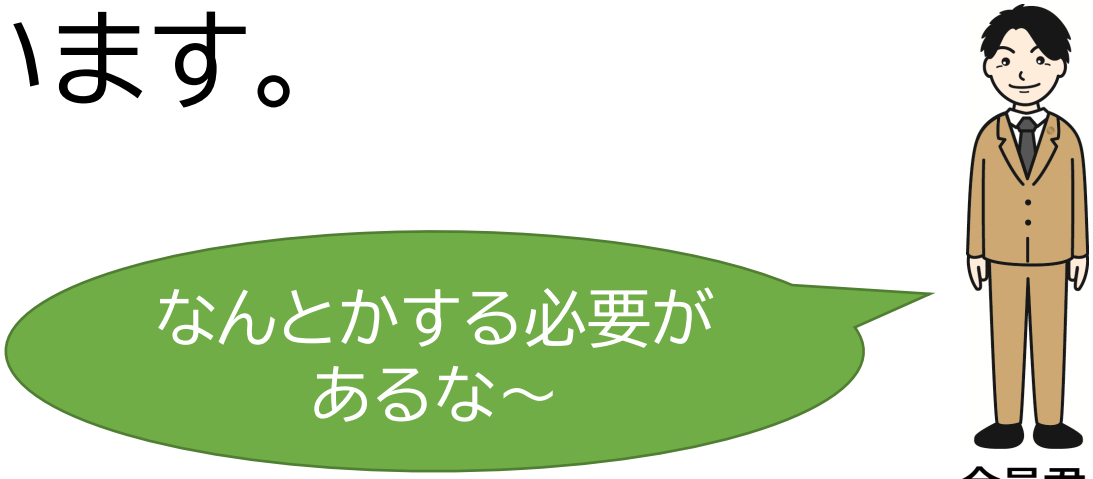


阿部三郎先生

合併して
建てるべき

三会合併の会

失言から始まった分裂は、97年経った今も続いています。



会員君

三会合併の会（旧：二弁設立の趣旨を守る会）

代表 道本幸伸（二弁） 副代表 浅野 晋（二弁）

同 渡瀬　耕（東弁）　同　土居健造（二弁）